

シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第24回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

## 植樹祭

春は植樹祭のシーズンです。本連載「愛林日」(令和四年五月号)では戦前の植樹活動に触れましたが、戦後は昭和二十年代後半から全国各地で植樹祭が盛んに行われるようになりました。

この背景には戦時中の無理な伐採とその後植樹がされなかったことによる森林の荒廃が問題となり、災害も多く発生したことの反省がありました。



昭和47年、飯田営林署(現在の南信森林管理署)での植樹祭

植樹祭は国有林(営林局)単独で行う場合もありましたが、各県庁や市町村と合同で行うことが多いものでした。記録を見ると昭和三十年代の植樹祭は四月に行われることが多かったのですが、昭和五十年代以降は五月開催が多くなり、六月開催のケースもあります。



昭和30年頃  
小坂営林署(現在の岐阜森林管理署)での植樹祭

昭和二十五年には全国行事として全国植樹祭(当時は「植樹行事ならびに国土緑化大会」という名称)が始まり、昭和二十二年の岐阜県を始めたとして、中部各県でも開催されています。



昭和30年代頃、旧名古屋営林局管内での植樹祭

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。  
当サイトへは、コードを讀み込んでください。

